



高岩園果之方石
 之...
 方...
 及...
 乃...
 亦...
 之...
 中...
 予...
 出...

高岩園果之方石
 之...
 方...
 及...
 乃...
 亦...
 之...
 中...
 予...
 出...

予道二文の如くあり
出之たまの方一に中なる
ありありあり及は織り
ありありありありあり
不日止及び所々あり
之れ教と書し物伝へる
吾々の鬼角公法又
有るは梅よりいふあり
何れなるに折ありあり
人びとにふりありあり
儀り筆と書考此方
白は道なるありあり
中なるありありあり
之れありありありあり
の中なるありありあり

三つあるを案上して
 一の中流より自然に
 多用の能心度々
 多力らして之より中府
 役者夫人より世に
 情実を述べし可き事
 多かりしなりけり
 此直よはめ是に
 少申之公法は助考
 以下鬼首より指揮
 亦從りし公法は不
 取敢つて應自奉也
 舟より力司公也

十一百十四

Handwritten text in a cursive script, likely a signature or a name, written on a piece of paper. The text is arranged in several lines, starting from the top right and moving downwards. The characters are fluid and connected, characteristic of a cursive hand.



伊子梅先生
大木
鮫島
青海

